

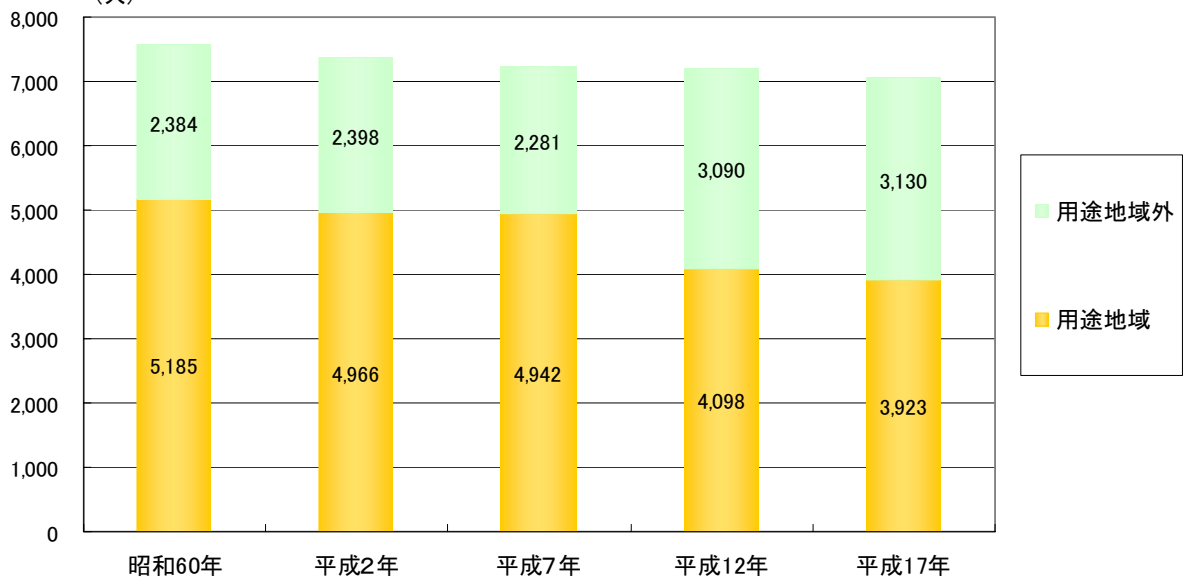
(4) 開発動向

①用途地域内外の人口増加

都市計画基礎調査により、用途地域内・用途地域外別の人口の推移をみると、用途地域内で減少しているのに対し、用途地域外では人口が増加傾向にあります。

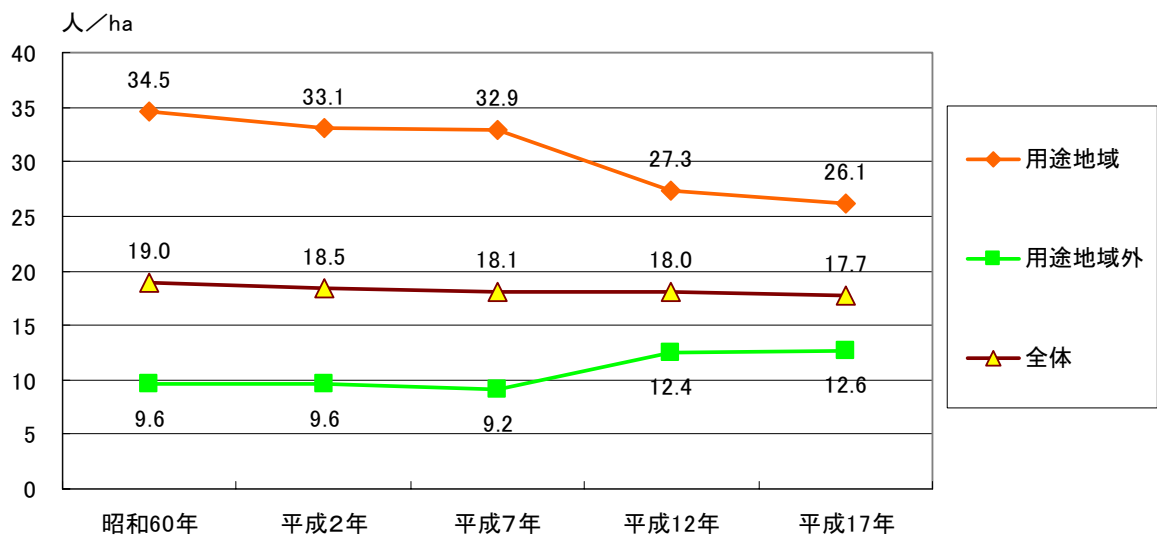
また、可住地人口密度でみると、用途地域内の人口密度が下がってきているのに対し、用途地域外では人口密度が高まってきています。

図2-23 用途地域内外別人口
(人)



資料：平成18年都市計画基礎調査

図2-24 可住地人口密度



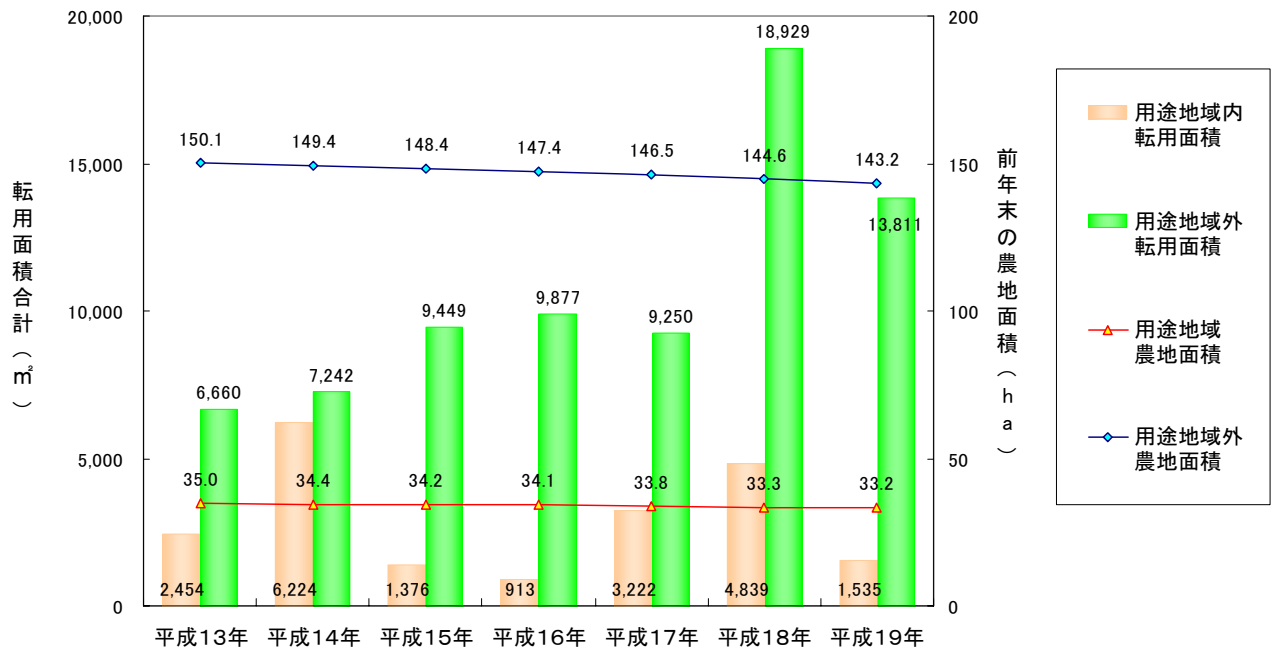
※可住地面積は、平成17年の面積
資料：平成18年都市計画基礎調査

②農地転用

農地転用面積は用途地域内よりも用途地域外で多い状況が続いています。

平成19年の転用面積は、用途地域内1,535㎡、用途地域外13,811㎡で、平成18年の農地面積に対する転用率は用途地域内0.5%、用途地域外1.0%となっています。

図2-25 農地転用状況

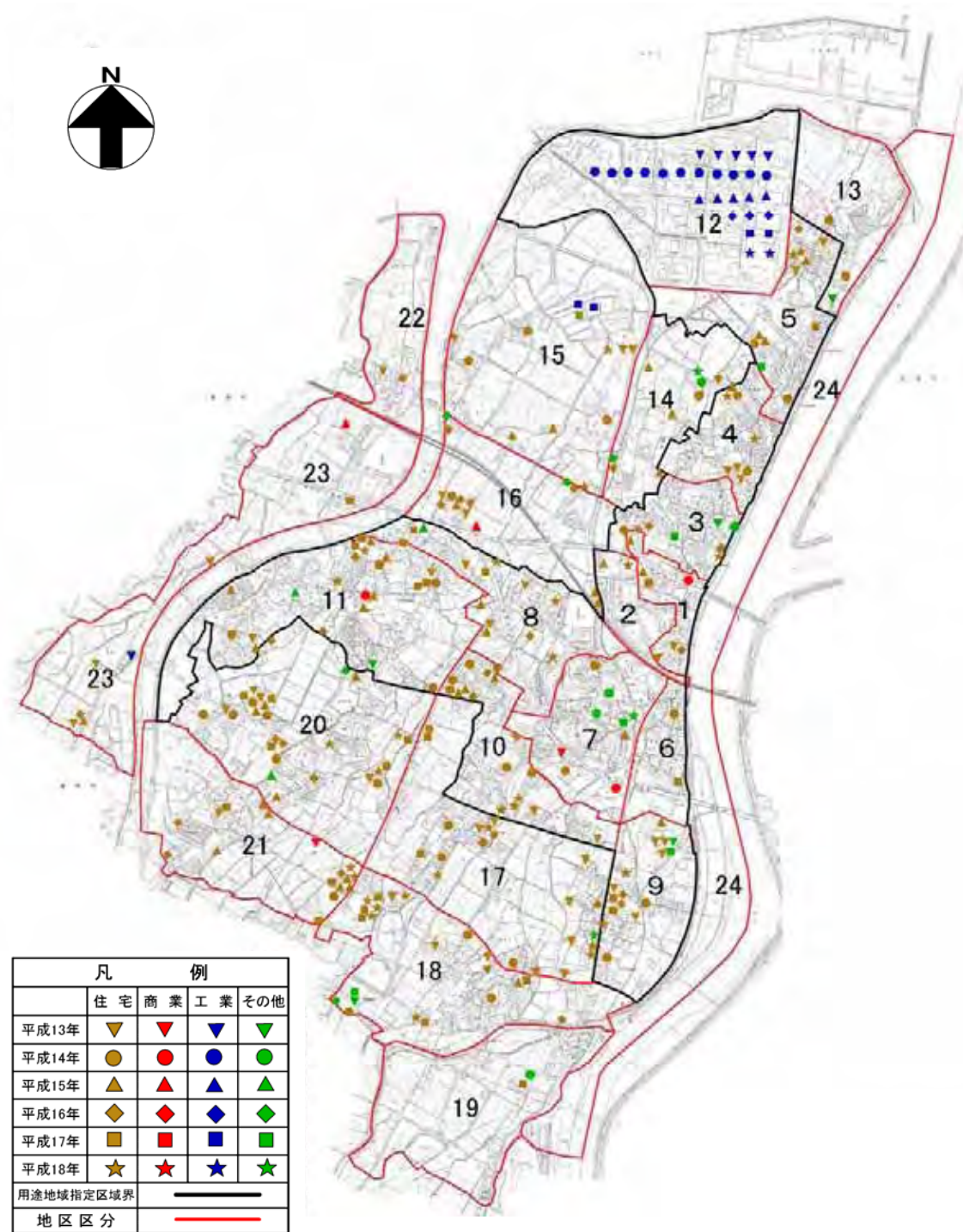


資料：平成18年都市計画基礎調査

③新築状況

都市計画基礎調査により、用途地域内・用途地域外の建築物の新築状況をみると、用途地域外での住宅建設が多いことがわかります。

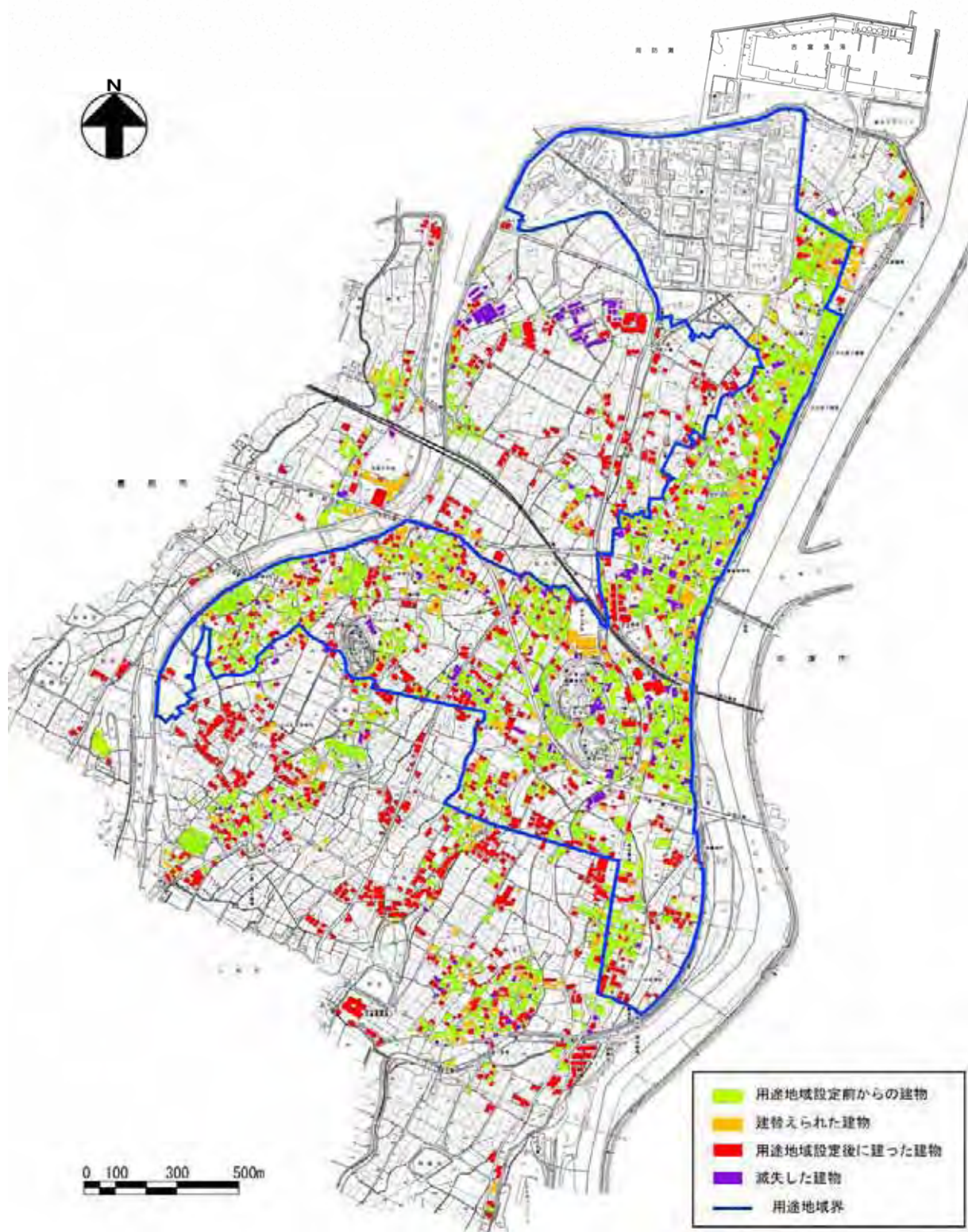
図2-26 新築建築分布



※地区区分および番号は都市計画基礎調査における集計区分
資料：都市計画基礎調査

昭和53年時点で建っていた建築物と、平成16年時点の建築物の分布状況を見ると、用途地域の外側で多く建てられていることがわかります。

図2-27 用途地域設定前後別建築物立地状況



※昭和53年6月測図の地図と、平成16年2月測図の地図より作成したもの
資料：吉富町平面図

(5) 道路・交通に関する現況

① 広域道路網

本町と隣接都市を結ぶ道路交通体系は、豊前市市街地と中津市市街地を直接結ぶ県道中津豊前線、県道中津吉富線が東西交通軸として機能しています。県道中津豊前線は、平日12時間交通量が約1万6千台と多く、混雑状況にあります。南北交通軸として、主要地方道吉富本耶馬溪線と県道山内吉富線がありますが、県道山内吉富線は交通処理能力が高いにもかかわらずネットワークが不連続なため、十分に活用されていない状況です。

現在、福岡東部県界道路として、県道吉富港線バイパスの新設整備が進められており、これにより県道山内吉富線と一体的に利用され、本町の南北交通軸として機能するものと見込まれます。また、臨海部に計画されている周防灘湾岸線道路が実現すれば、本町の広域的なアクセス性が飛躍的に高まることとなります。

図2-28 広域周辺道路網図



②主要道路

県道中津豊前線、県道中津吉富線は歩道部が狭く、歩行者にとって危険な状況となっています。主要地方道吉富本耶馬溪線は現在歩道整備が進められています。これらの道路は通学路として利用されていることから、早急に歩道の改良整備を行うよう、関係機関に働きかけていく必要があります。

③町内集落間道路

町道幸子楡生線、町道楡生佐井川線、町道小犬丸界木線、町道鈴熊今吉1号線などは、町域の東西方向を連絡しており、通学路や巡回バス路線として利用されていますが、いずれも幅員が狭く、安全性、快適性に欠けています。生活交通を担う主要な東西軸としての強化・安全性向上を図るための整備が必要です。

町域西部の南北方向を走る町道直江中村線には、通過交通が流入していますが、2級町道の位置づけで整備が進んでいません。並行して整備された県道山内吉富線のネットワーク性を向上させ、機能分担を明確にする必要があります。

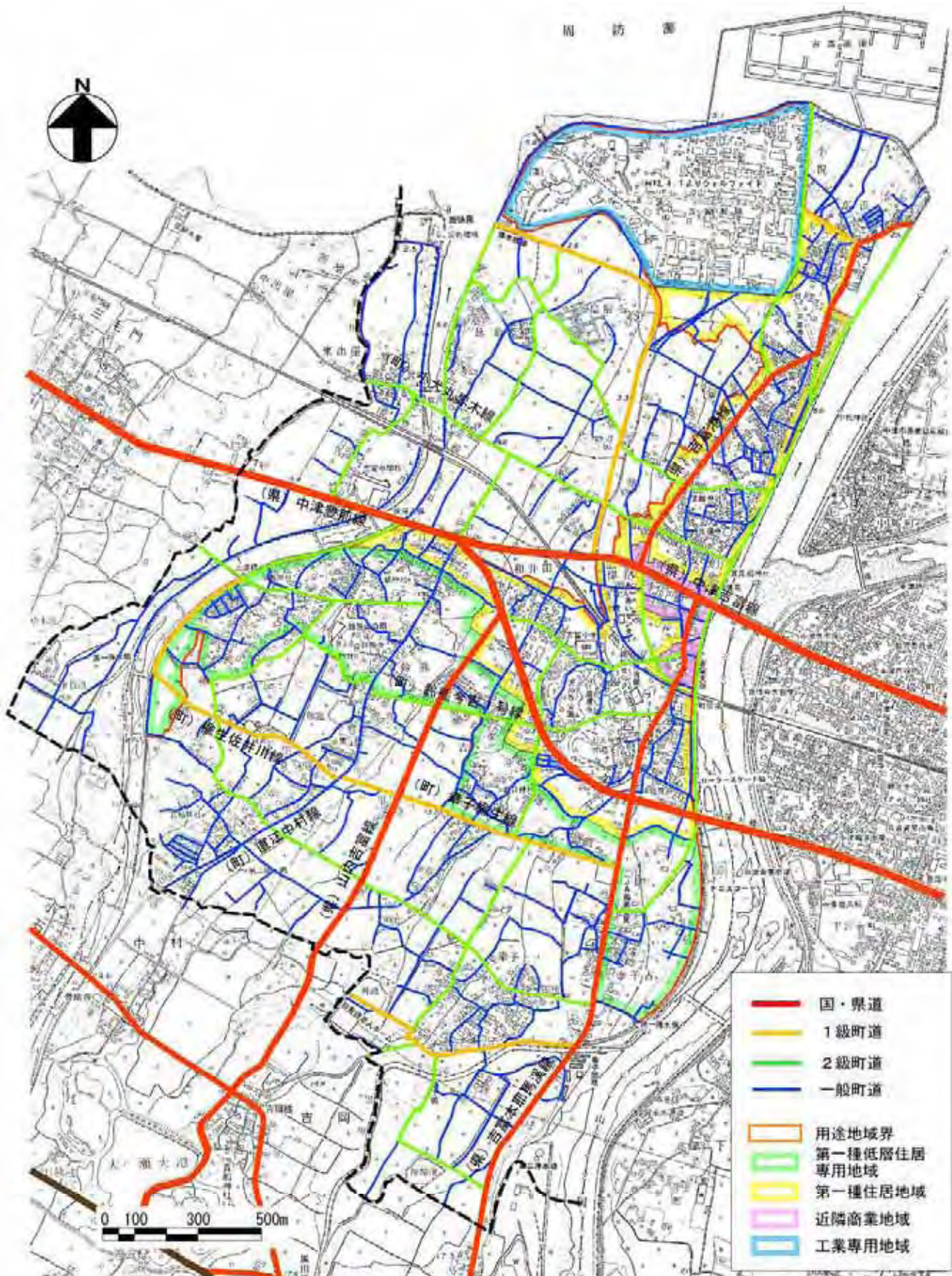


町道直江三毛門線



町道鈴熊今吉1号線

図2-29 管理者別道路網図



④町道

一般町道は、住宅地開発に伴い設けられた道路を除き、ほとんどが幅員4m未満の狭小で、かつ屈曲した道路となっています。

町道総延長約70kmのうち、幅員4m未満の道路が全体の42%を占めており、6m以上の幅員の道路は約8.5km、12%にすぎません。

自動車のすれ違い通行が困難な幅員2.7m未満の町道は11.6km、16.5%もあります。

表2-7 町道の認定状況

	延長 (m)	面積 (㎡)
1級町道	4,503.48	31,146.80
2級町道	16,315.46	82,573.23
その他町道	49,639.36	187,968.04
計	70,458.30	301,688.07

資料：認定路線調書（平成20年3月）

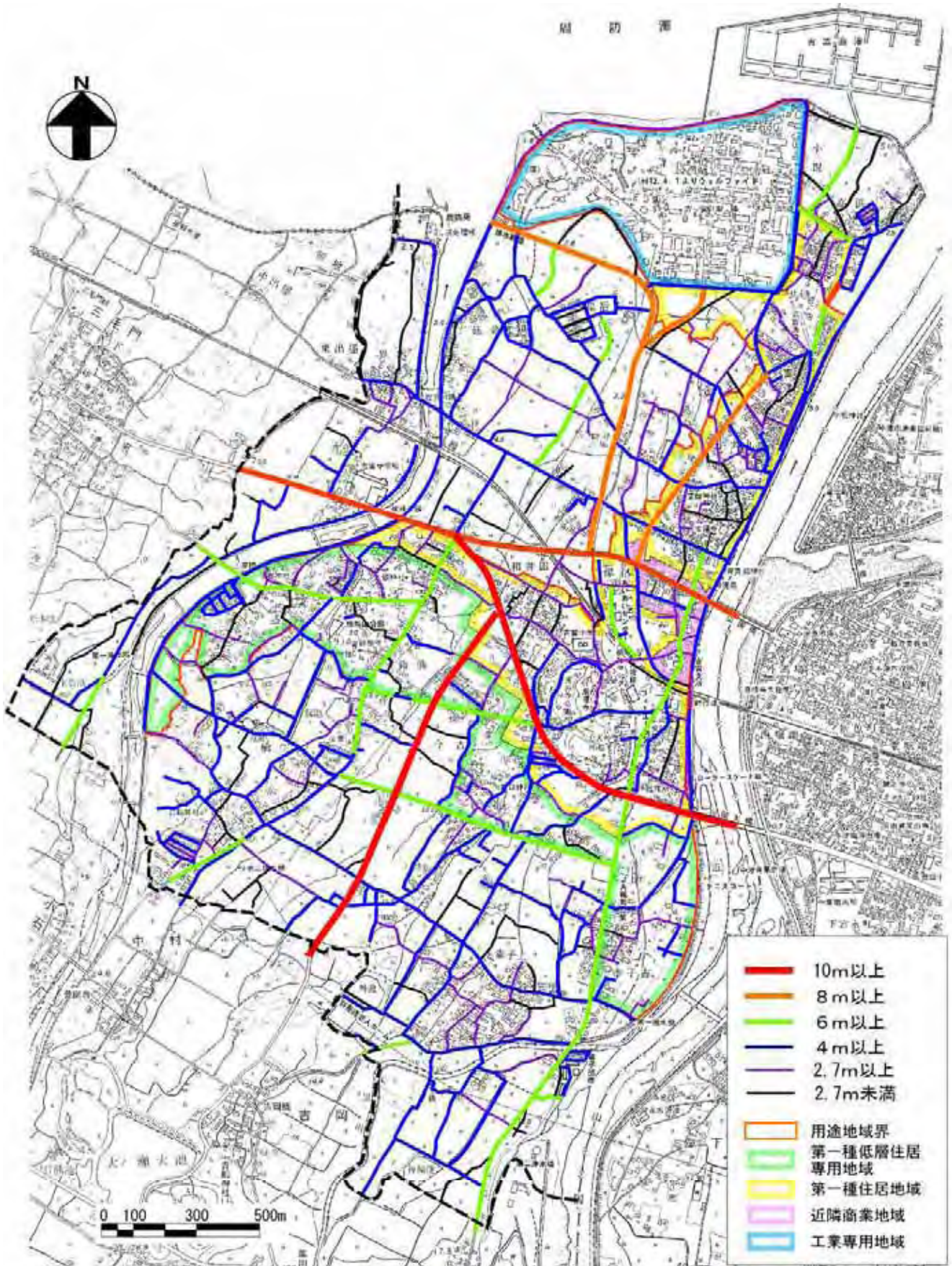
表2-8 幅員階級別町道延長

幅員階級	延長計 (m)	構成比	累積
2.7m未満	11,644	16.5%	16.5%
2.7m以上4m未満	17,966	25.5%	42.0%
4m以上5m未満	21,116	30.0%	72.0%
5m以上6m未満	11,214	15.9%	87.9%
6m以上	8,518	12.1%	100.0%
総計	70,458	100.0%	—

※幅員は路線毎の平均幅員

資料：認定路線調書（平成20年3月）

図2-30 道路幅員



⑤道路・交通の問題・課題

緊急車両の進入や自動車の離合が困難な箇所、あるいは見通しが確保されていない交差点が多く見受けられます。

また、アンケート調査においても、交通の安全性に対して不満を持っている人が非常に多い結果となっており、道路の拡幅や安全性の向上が今後の整備課題となっています。

図2-31 道路・交通問題・課題図

